

大子中学校だより



夢に向かって挑戦し、手応えを実感する



文責 校長 長山 芳子
大子町立大子中学校
久慈郡大子町池田1648
TEL 72-0158, FAX 72-0461

ポータルサイト <https://www.daigo.ed.jp/page/dir000009.html>

人権週間~12月4日(月)-10日(日)~

1948年12月10日の第3回国際連合総会で、世界人権宣言が採択され、これを記念し、1950年の国際連合総会で「毎年12月10日の世界人権デーとする」とされました。

本校では、各学級で一人一人が周りの人たちに思いやりや優しさのある行動を呼びかける標語をつくりました。これからも、お互いを尊重し合える心を大切にしていきます。

【茨城県青少年赤十字標語コンクール出品作品】

- ◆ 「一緒にやろう」 その一言が思いやり 1年1組〇〇 〇〇さん
- ◆ 小さな優しさ積み重ね いじめゼロへの第一歩 2年2組〇〇 〇〇さん
- ◆ やさしさは やさしさによりそだつもの 3年2組〇〇 〇〇さん



たばこの危険性を痛感~2学年 喫煙防止教室実施~

12月8日(木)に水戸済生会病院の井坂健一先生を講師としてお招きし、喫煙防止教室を実施しました。井坂先生からは、①たばこの危険性と依存性②日本と世界の喫煙に対する認識の違い③もし誘われたらどう断るかの3点についてご講話いただきました。

たばこの煙は7m四方まで広がり、周りの人に悪影響を及ぼすことやたばこ一本で寿命が5分30秒短くなるなどショッキングな話がありました。また、たばこの自動販売機があるのは日本とドイツだけという話から、日本の認識の甘さが伝わりました。生徒からは、次のような感想が寄せられました。



たばこの危険性や依存性を学んだ。将来、たばこを吸わないようにしたい。

私の家族でたばこを吸っている人がいる。長生きしてほしいので、できればやめてほしいと思った。

たばこには、いろいろな有害物質が含まれていて、病気になる可能性がある。大人になってもすいたくないと思った。

もし、これからたばこを勧められても、きっぱりと断りたい。

「え、こんなに?」

コミュニティ・スクールと学校地域協働連携活動

今年度から、大子町全ての学校で学校運営協議会制度が始まりました。この学校運営協議会制度を導入した学校のことを「コミュニティ・スクール」と呼び、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくりを進める仕組みです。

今年度は、大子中学校区として、大子町教育委員会から27名の委員が任命され、コミュニティ・スクールの進め方や取組について話し合ったり、学校の様子を見ていただいたりしました。また、12月7日(木)には、文部科学省CSマイスターの先生から学ぶ機会がありました。今後、令和6年度に向け、「目指す生徒像の確認・共有」「そのための取組と準備」をしていきます。

今後、学校運営協議会が提案する内容に沿って、学校地域協働活動(地域住民・保護者・学校が同じ目標に向かって行う活動)を展開していきます。今後もCSとしての取組を発信していきますので、保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



FMだいで放送決定! 読書感想文コンクール入賞作品

先日、FMだいのスタッフが来校し、作品を本人の朗読で収録しました。

- ◆ FMだいで「おひるです! だいで」12月11日(月)12:30ごろ
大子町読書感想文コンクール最優秀賞 「私のアップステージ」 2年 〇〇 〇さん
- ◆ FMだいで「おひるです! だいで」12月21日(木)12:30ごろ
茨城県読書感想文コンクール入選 「動物と人が助け合う世界」 3年 〇〇〇〇〇さん



7 mテープで、副流煙の範囲を示しました。